

農福
連携

兵庫県稲美町

JA兵庫南



環境にやさしい商品を全国展開へ

完成した大麦ストロー

取組内容

- JA兵庫南では、①就業支援・マッチング、②福祉事業所支援員向け研修会の実施、③農福マルシェ、の「農福連携プロジェクト」を推進。
- 「大麦ストロープロジェクト」と題して、東播磨特産の大麦を活用し障害者が選別・調整作業を行ったストローを令和3年夏から販売に向けて本格的に製造・販売を開始。
- 令和3年度は約1万本を製造。

取り組みに至った経緯

- JA兵庫南は西日本でも有数の大麦の産地で、収穫後に残った麦わらの処分方法を検討していたが、茎を活用した天然素材のストローを商品化することによりプラスチックゴミの削減につながり環境にやさしいことから取組んだ。

取り組む際に生じた課題と対応

- 販売先の確保が必要であることから、当面、JA兵庫南農産物直売所「にじいろふぁーみん(稲美町)」にて販売。
- 大麦の収穫タイミングを間違えると麦わらの劣化を招くことから適期収穫が肝要。

取組の成果(受賞等)

- 兵庫県東播磨産大麦の茎を原料にした地産地消。
- 農福連携を通じた地域おこしへの挑戦(農家・障害者・JA・消費者)
- 環境にやさしい自然素材の商品

今後の展望

- 大麦ストローを商品化し全国に販売展開を行う。
- 商品化に成功した大麦を使用したフィンランドの伝統工芸品「ヒンメリ」セットを活用し大麦ストローの認知度を高め大麦ストローの消費拡大を図る。

